

IT-ROI（システム化投資効果）分析

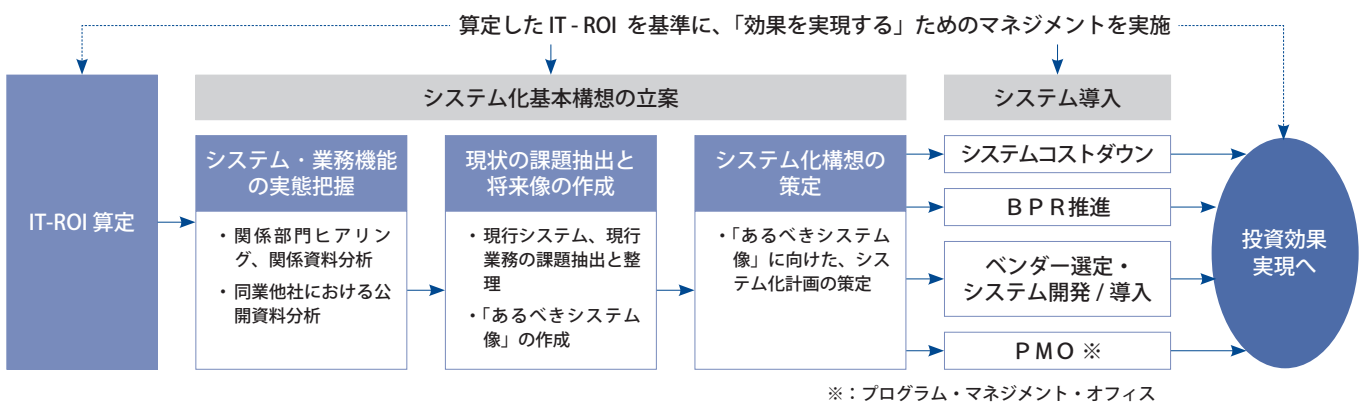
システム整備への投資は、本当に適切な規模なのだろうか？

システム整備にはカネも時間も必要です。特に、システム化の対象となる業務や部門が複数にわたるような状況では、業務の再構築という、“システムを活用するための取り組み”も欠かせません。
また、整備するシステムの規模が大きくなればなるほど、品質確保のための工数が級数的に増大し、投資金額を押し上げます。

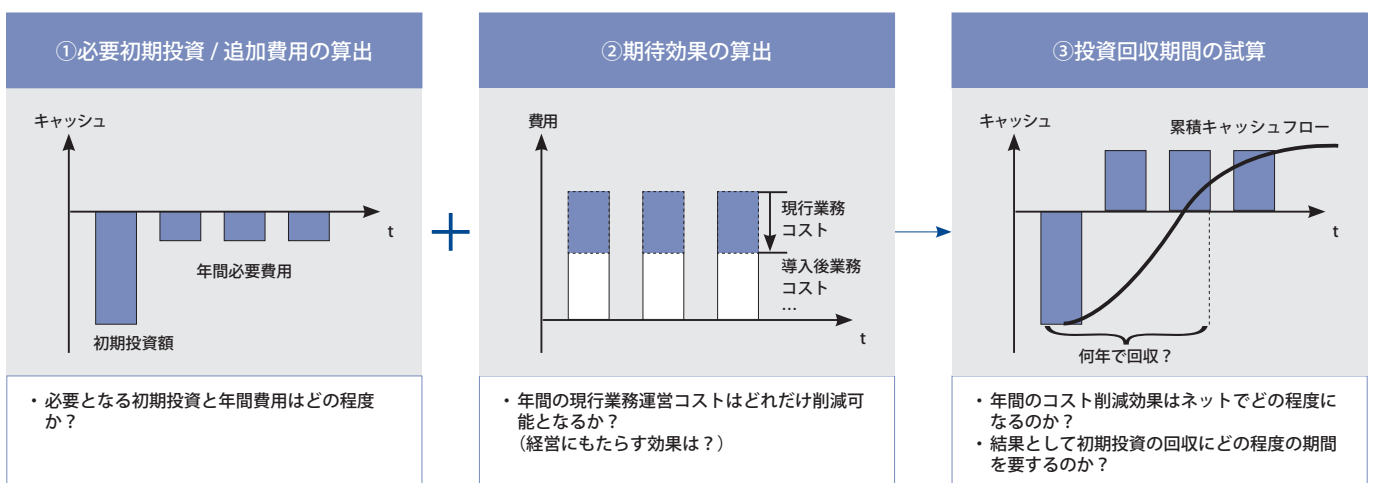
- これから取り組もうとするシステム整備は、どのくらいの投資をする価値があるのか？
- システム化投資の回収は、どの業務や分野での効果が大きいのか？

・・・これらを数値で把握することにより、システム化投資規模の妥当性の判断が下せることはもちろん、効果を見据えた“作りっぱなし”にしない、システム整備が可能になります。

IT-ROI 算定の標準的な進め方



IT-ROI（システム化投資効果）分析の枠組



まずは簡易診断を！

- CDI ソリューションズでは、システム整備における投資対効果の“規模感”を把握することを主眼とした、IT-ROI の「簡易診断サービス」をご提供しています。
- システム導入計画の本格的な立案に先立って実施することにより、既存システム修復・拡張や業務の見直しなど、効果を上げるための取組課題の明確化や必要作業の棚卸などに役立ちます。システム整備の企画段階にご活用ください。
- 必要期間：1 ヶ月程度